

—2020年度—

美しい手賀沼を愛する市民の連合会

活動報告

2020年度 美手連の主な活動のひとつ 調査事業について振り返り

■ ハス調査

■ ヒメガマ調査

■ ナガエツルノゲイトウ・オオバナミズキンバイ調査

* 千葉県による「湖沼における外来水生植物対策事業」の検証

* ナガエツルノゲイトウ・オオバナミズキンバイ分布調査

■ オオカワヂシャ調査・駆除

■ 手賀沼の魚類・貝類調査



2010年7月31日撮影

■ ハス調査

東大ハス刈り船試験

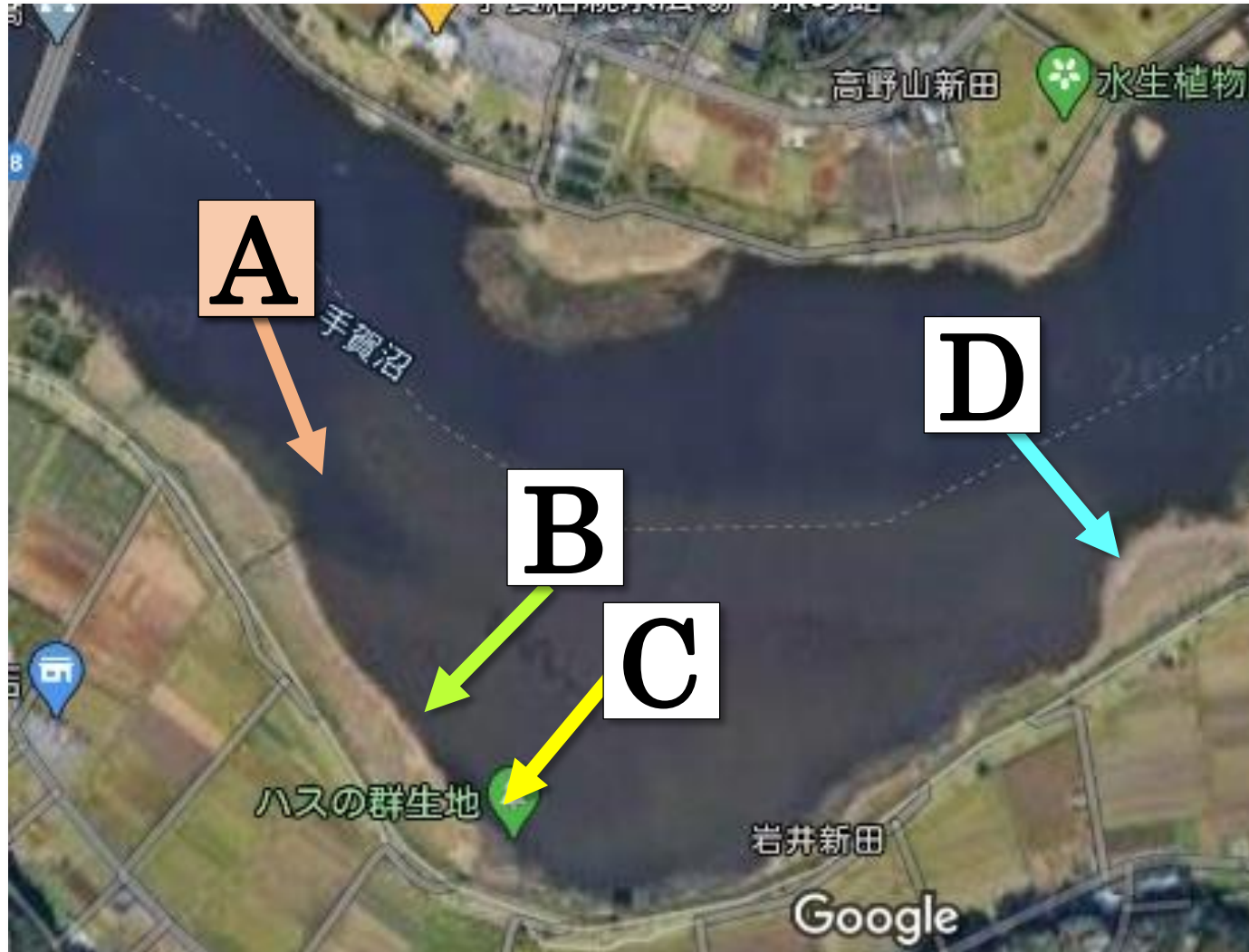


2013年6月27日



2018年6月14日

■ハスの繁茂状況の推移



A 地点



2019年7月8日



2019年9月24日

A 地点

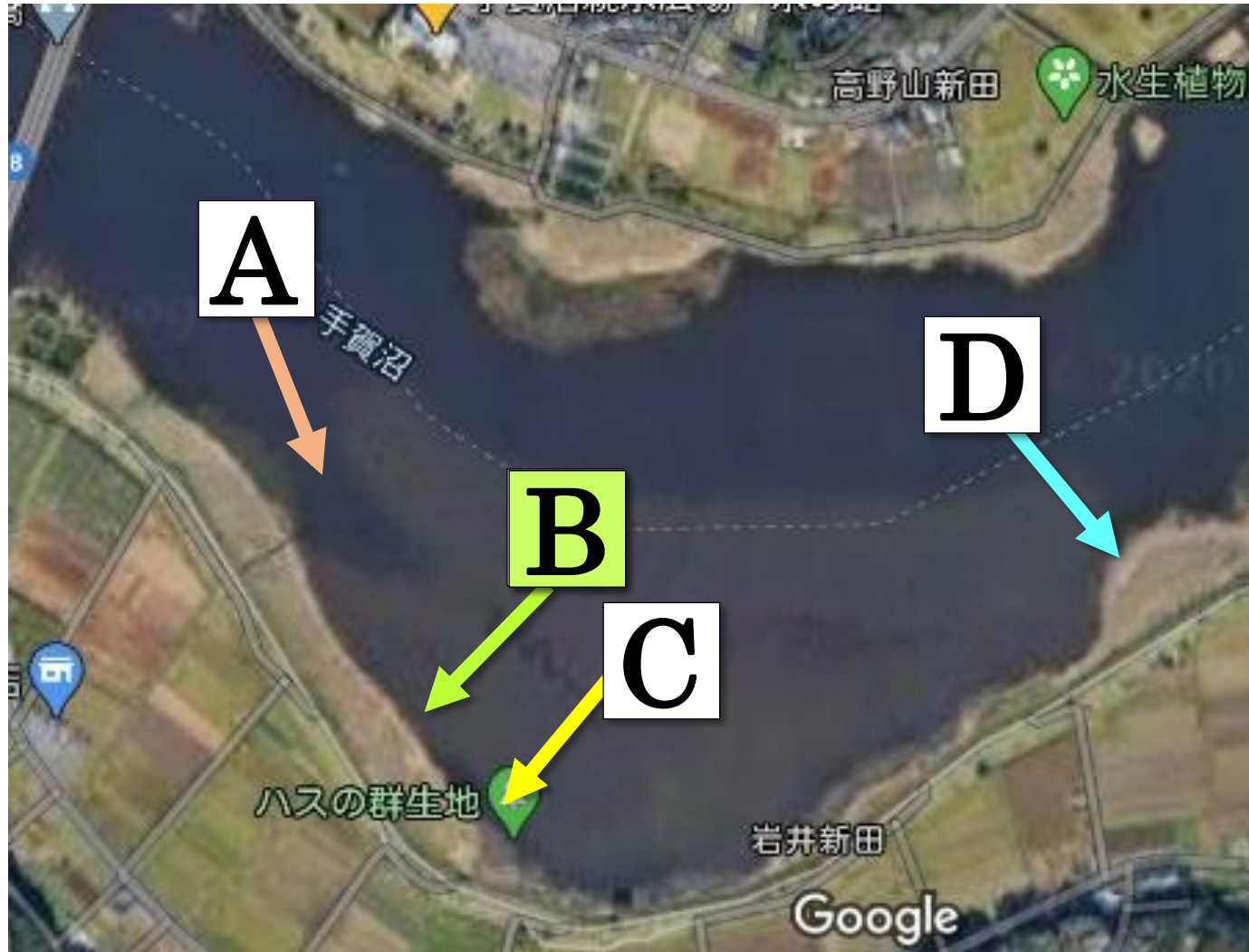


2020年6月30日



2020年11月30日

■ハスの繁茂状況の推移



B 地点



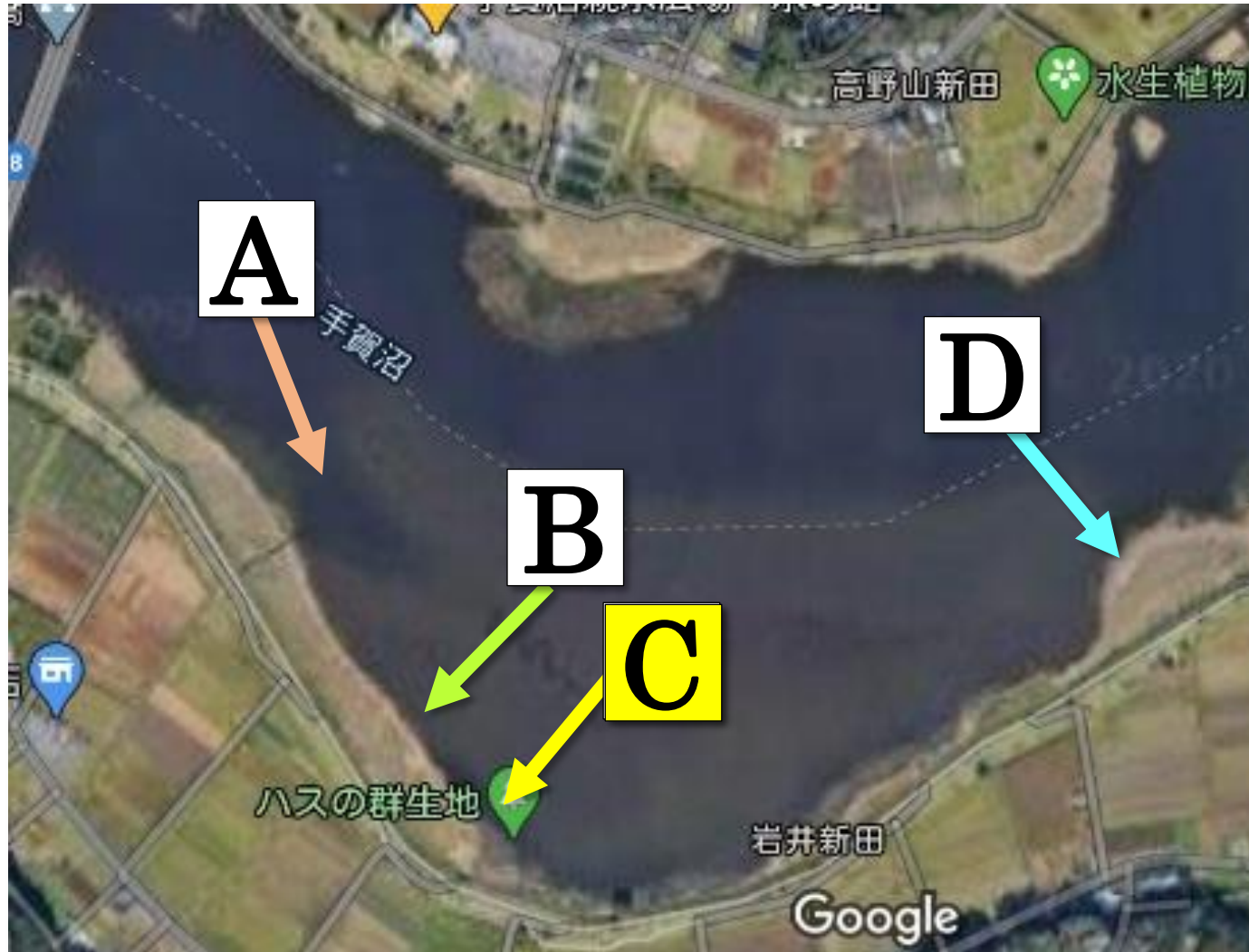
2019年7月8日



数株のハスが残存

2020年6月30日

■ハスの繁茂状況の推移



C 地点

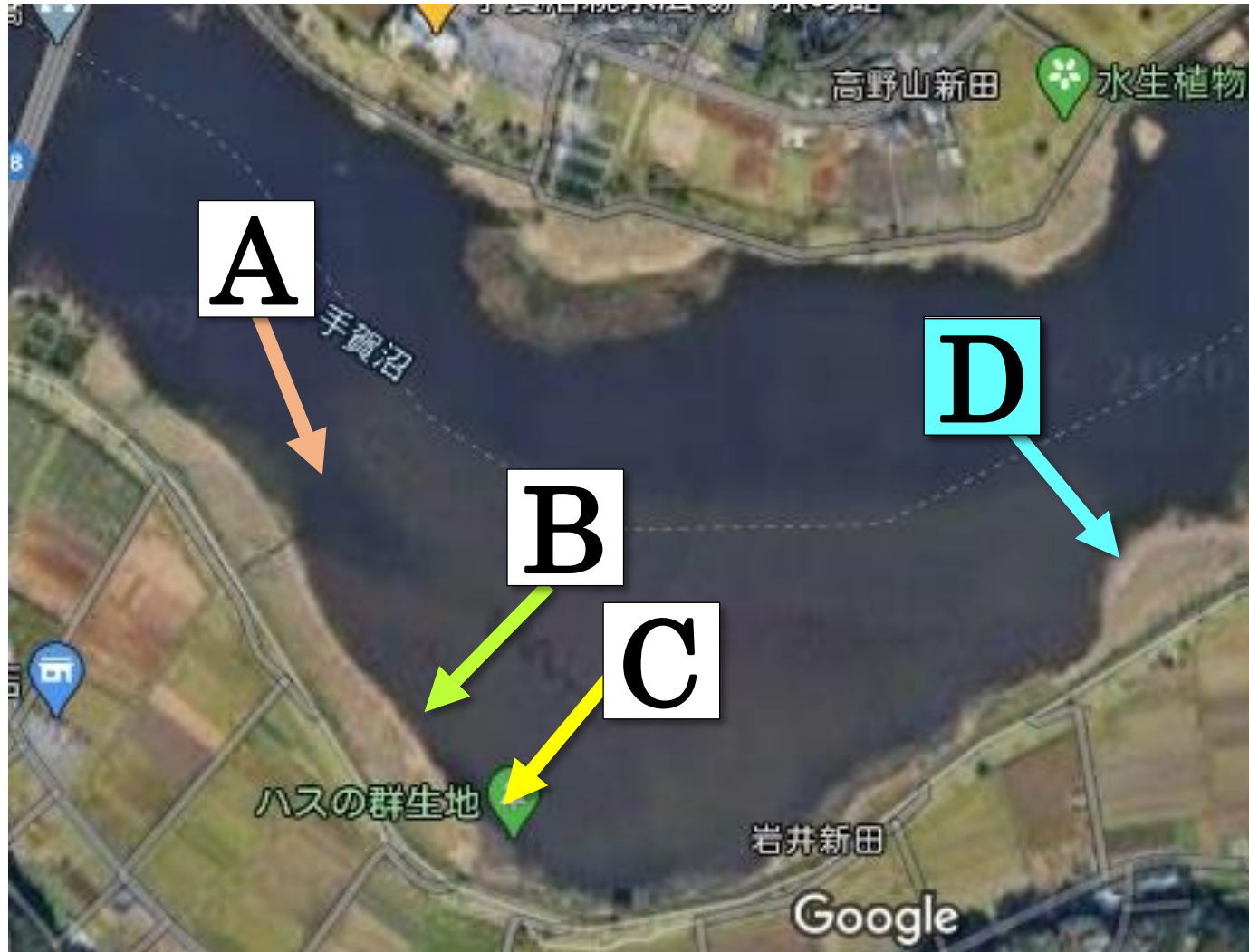


2021年6月1日



2020年6月30日

■ハスの繁茂状況の推移



D 地点

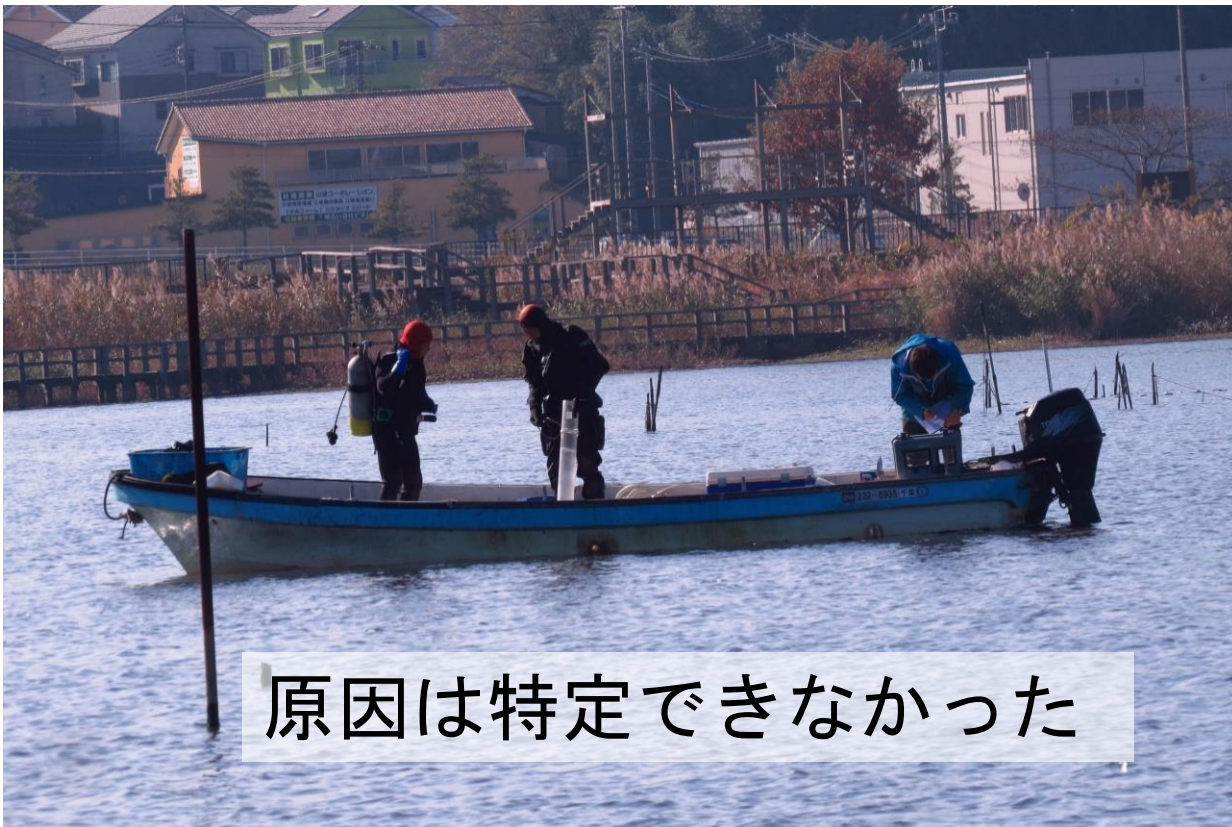


2019年7月8日



2020年8月5日

手賀沼水環境保全協議会による「令和2年度手賀沼におけるハスの生育状況悪化に係る原因等調査」



原因は特定できなかった



2020年11月30日 ハスの枯死体ばかりで地下茎は確認できなかった

■ ヒメガマ調査

日時：2020年11月30日
9：35～11：30

※手水協によるハス現地調査
見学の同日に実施

使用船舶：みずすまし号
古川船長他
(NPO法人アルバトロスヨットクラブ)

参加：千葉県立中央博物館
林紀男さん
美手連6名



■ヒメガマの繁茂状況の推移

調査日：2020年11月30日



■ ナガエツルノゲイトウ オオバナミズキンバイ調査

* 千葉県による

「湖沼における外来水生植物対策業」の検証

① 駆除現場
(左) ハーベスター
(右) コンバー

大堀川



クレーンで陸揚げ・陸上運搬

③ 柏土木棧橋

④ 保管場所

大津川

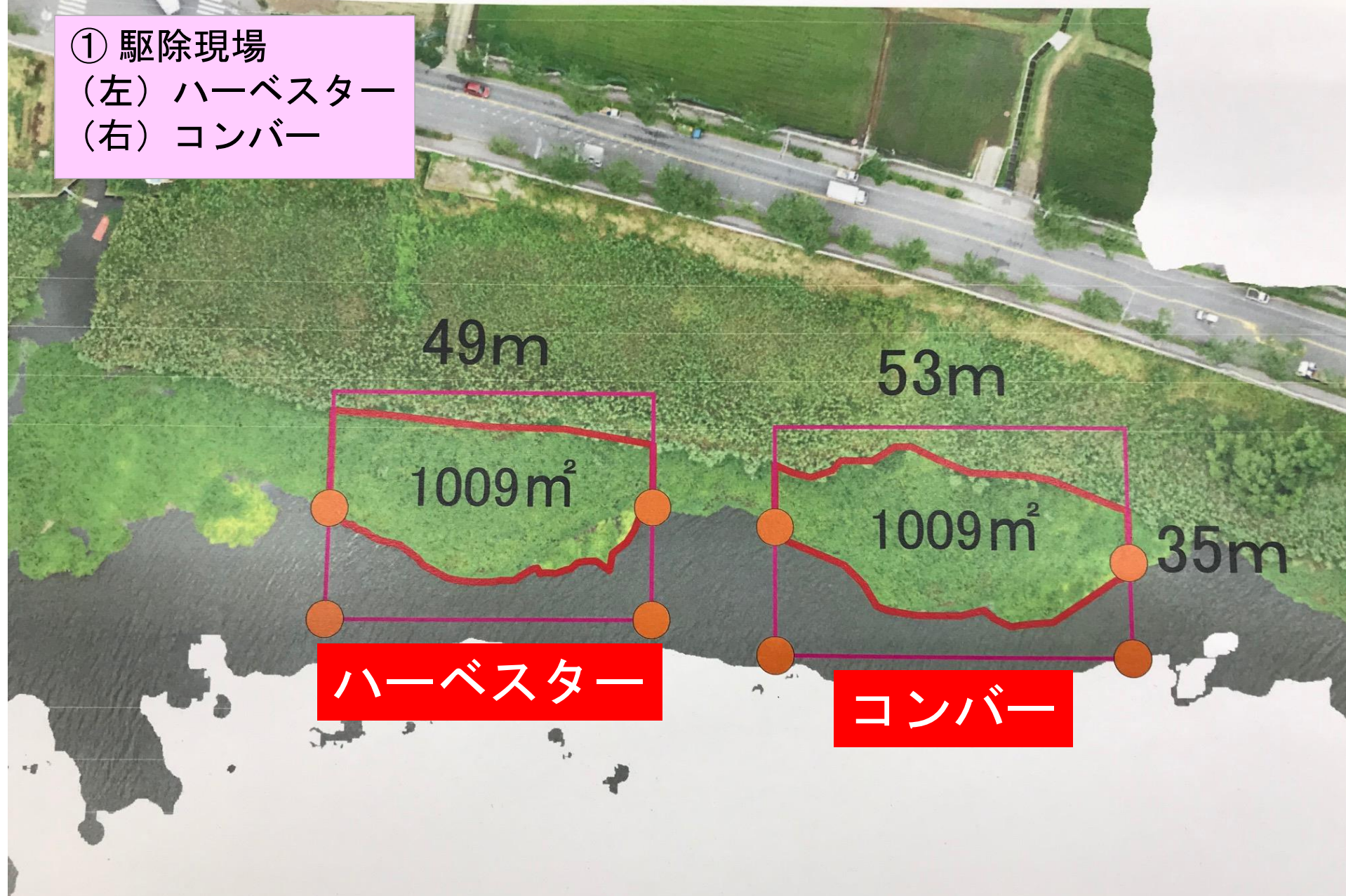
⑤ 我孫子市
クリーンセンター



① 駆除現場

(左) ハーベスター

(右) コンバー



① 駆除現場

(左) ハーベスター
(右) コンバー

大堀川

クレーンで陸揚げ・陸上運搬

③ 柏土木棧橋

④ 保管場所

運搬船2隻稼働
広げたモッコの上に水草積載

大津川

保管場管理
天地返し・乾燥

⑤ 我孫子市
クリーンセンター



ハーベスターによる試験駆除の視察

日時：2020年6月30日 10:15～12:40

参加者：滋賀県琵琶湖環境部 中井克樹氏、千葉県立中央博物館 林紀男氏、

千葉県水質保全課 小田上副主幹

いであ株式会社（試験駆除受託業者） 高橋栞氏、美手連6名

船（みずすまし号）の運航：古川船長、生馬補助員（NP0法人アルバトロスヨットクラブ）

<ハーベスター 水草刈り取り船の仕様 等>

- 機種名：ハーベスター（ヤンマー AWH 2000）
- 駆除方法：巻き上げによる回収
- 移動可能水深：水深40cm以上
- 駆除能力：約200～400 m²/日
- 今回の試験駆除面積：約1,000 m²



■刈り取りの下準備と流出防止策



ウォータージェットでちぎれた葉
や茎をかごで掬い取る



専用のボートに乗って
タモ網で断片をキャッチ！

コンバーによる試験駆除の視察

日時：2020年8月5日9:00～11:20

参加者：千葉県立中央博物館 林紀男氏、千葉県水質保全課 大島班長・小田上副主幹
ヤンマー関連会社（ハーベスター駆除の担当者） 山本氏・石橋氏、
宇部工業株式会社（コンバー説明員）1名、いであ株式会社 弓木氏・安間氏、 美手連9名
船（みずすまし号、小型船舶2隻）運航： NPO法人アルバトロスヨットクラブ3名、宇部工業株式会社

<コンバー 水草刈り取り船の仕様 等>

- ・機種名：CONVER C-550（宇部工業株式会社、オランダ製）
- ・駆除方法：5種類のアタッチメントにより種々の水草駆除に対応が可能。
今回は、レーキバケットを装着し、すくい上げ駆除を実施。
- ・水陸両用：陸上部/キャタピラで自力移動
水上部/プロペラ船として移動
- ・駆除能力：約150m²/日
- ・今回の試験駆除面積：約1,000 m²



① 駆除現場

(左) ハーベスター
(右) コンバー

大堀川

クレーンで陸揚げ・陸上運搬

③ 柏土木棧橋

④ 保管場所

運搬船2隻稼働
広げたモッコの上に水草積載

大津川

保管場管理
天地返し・乾燥

⑤ 我孫子市
クリーンセンター



■試験駆除後の再生状況の確認調査



■ 試験駆除後の再生状況の確認調査



ハイドロモグによる本格駆除の視察

日時：2021年1月28日 10:15～12:40

参加者：千葉県立中央博物館 林紀男氏、千葉県水質保全課 小田上副主幹、美手連6名

船（我孫子手賀沼漁協小型船舶）の運航：古川船長（NP0法人アルバトロスヨットクラブ）

※同時に、いであ株式会社が行政など関係機関と小型船舶で視察。

ノダック株式会社（本格駆除受託業者）佐竹氏が作業船に同乗し、2隻の視察船の参加者とトランシーバーで質疑応答。

<ハイドロモグ 水草刈り取り船の仕様 等>

- ・機種名：ハイドロモグ (HYDROMOG-SRX105) ノダック(株)製
- ・駆除方法：クラムレイキによる掴み上げによる回収
- ・移動可能水深：水深40cm以上
- ・駆除能力：約 300～500 m²/日
- ・今回の本格駆除面積：約7,200 m²





先端のクラムレイキで
水中の根まで駆除する



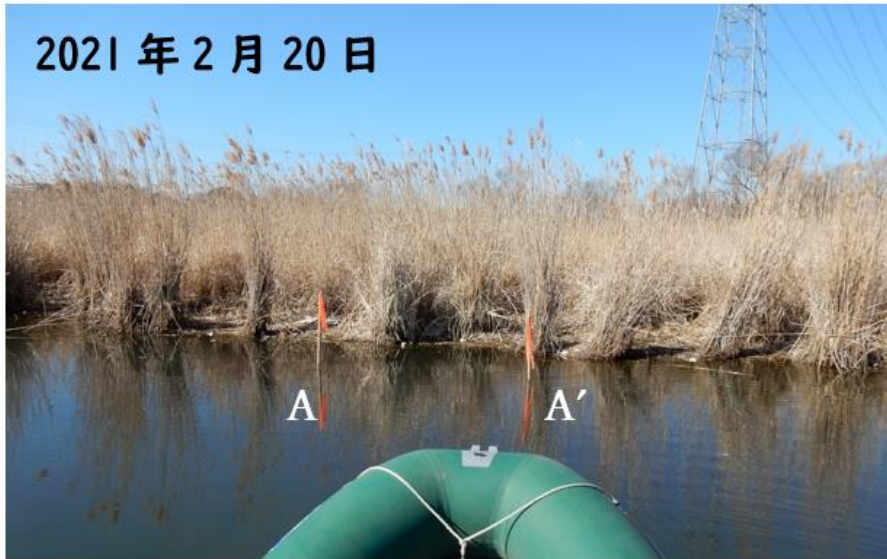
クラムレイキで掴み取ったら
水中に振り入れ、泥を除去



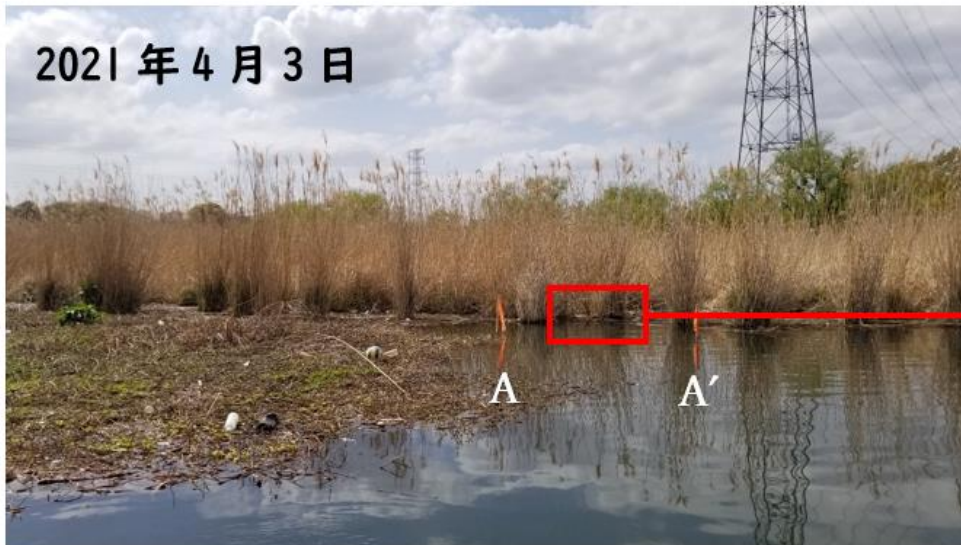
幅広のクラムレイキで掴み取ると
一度に満載になる

■ 本格駆除エリア経過観察地点の継続調査

2021年2月20日

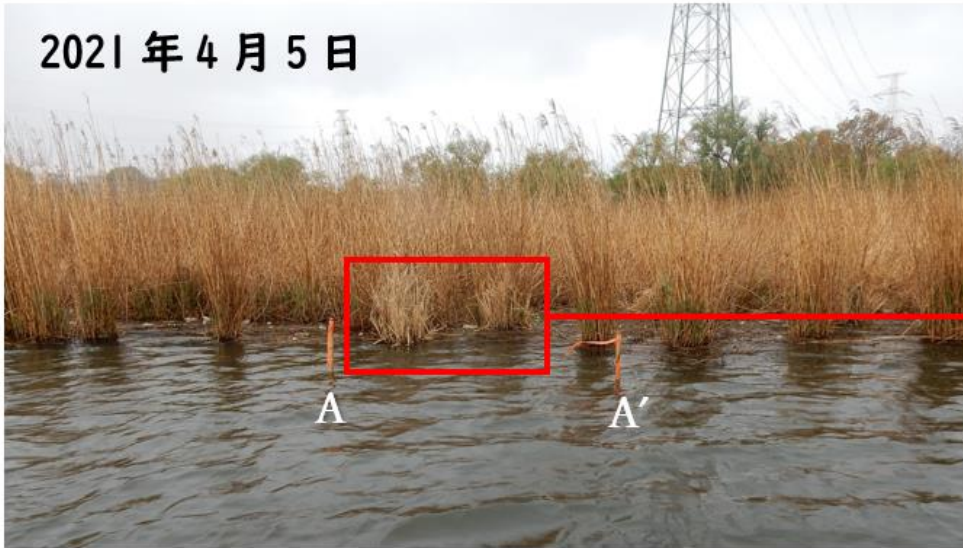


2021年4月3日

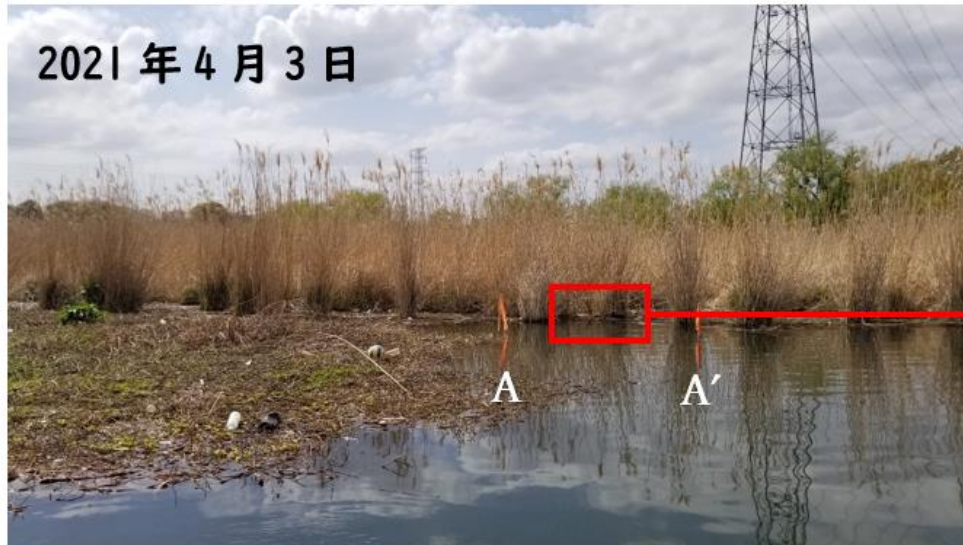


■ 本格駆除エリア経過観察地点の継続調査

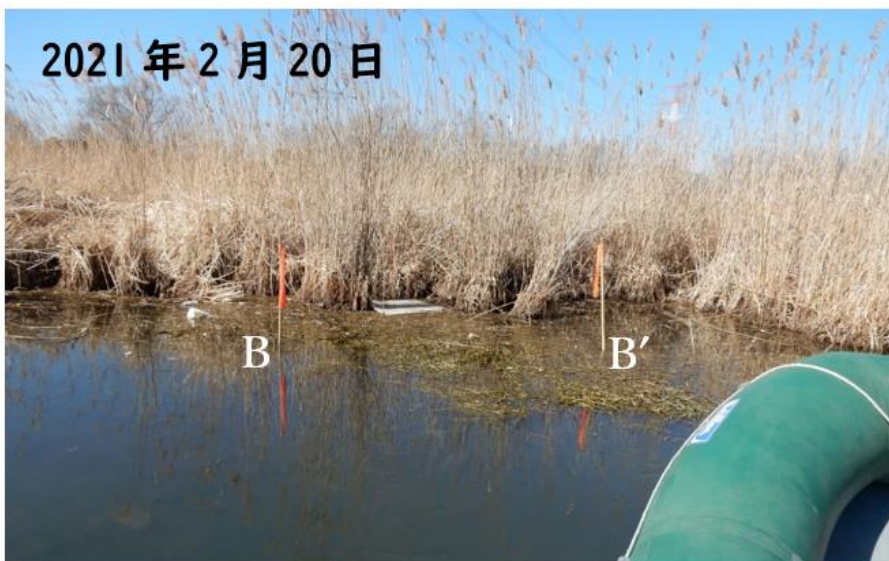
2021年4月5日



2021年4月3日

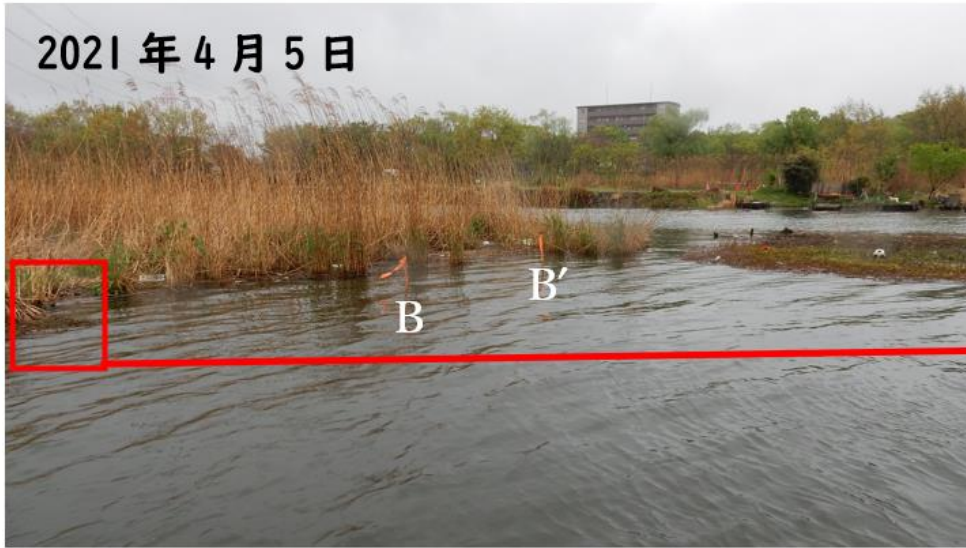


■ 本格駆除エリア経過観察地点の継続調査



■ 本格駆除エリア経過観察地点の継続調査

2021年4月5日



2021年4月3日



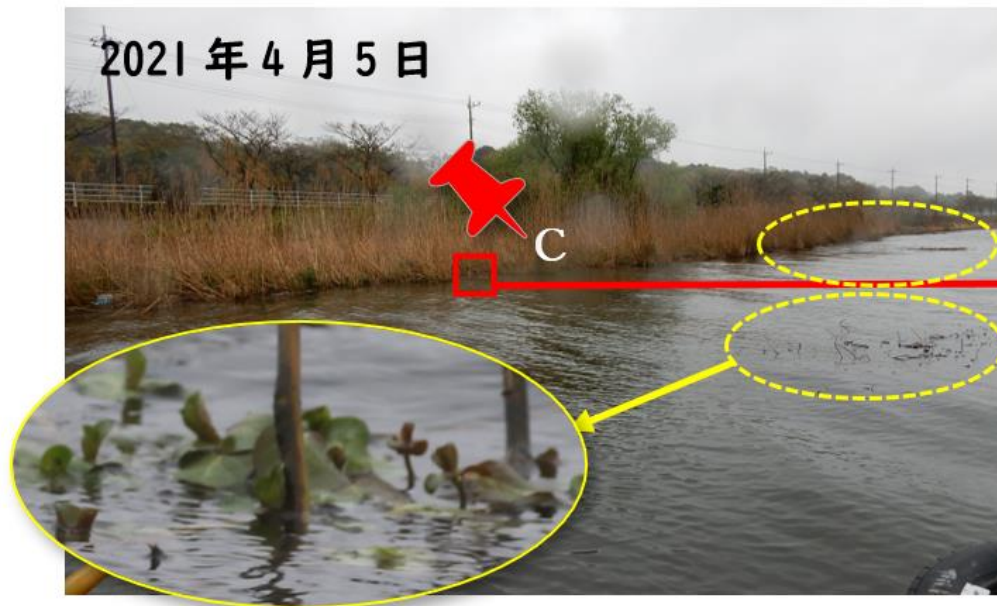
2021年4月3日



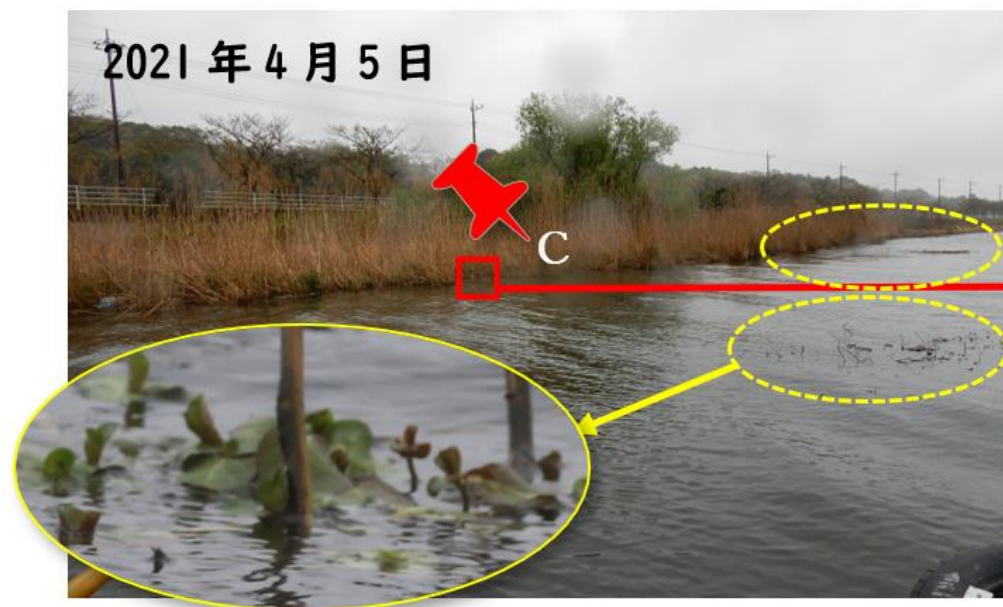
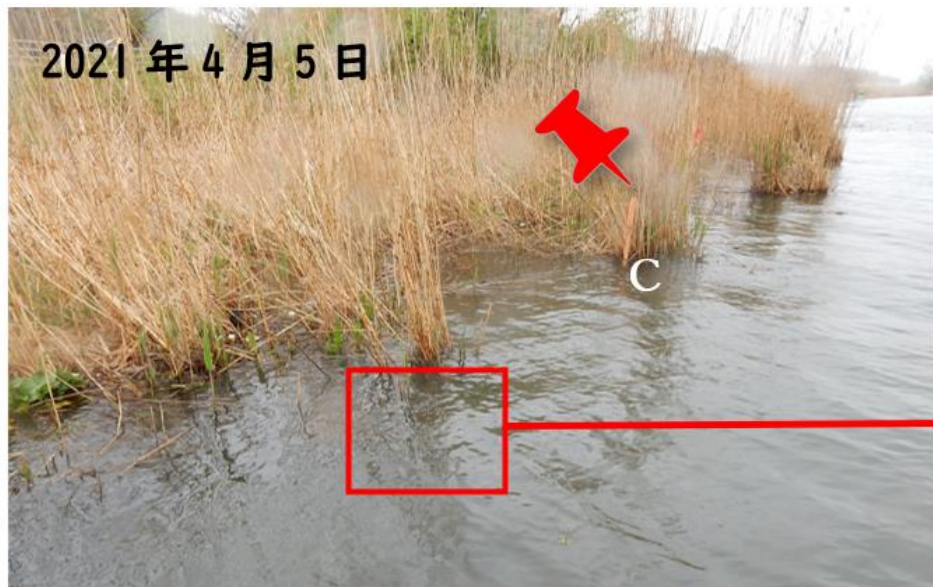
2021年4月5日



■ 本格駆除エリア経過観察地点の継続調査



■ 本格駆除エリア経過観察地点の継続調査



■北千葉第二機場前の状況

※第二機場放流口まで開放面が続いている。



■花火台周辺の状況



■手賀沼を漂流



航行時に漂流している群落を多数目撃している。
右写真は 大堀川河口部左岸に漂着した群落。

■ナガエツルノゲイトウ・オオバナミズキンバイ分布調査



■ナガエツルノゲイトウ・オオバナミズキンバイ分布調査



■オオカワデシヤ事前調査

①1月25日（月）

【大津川逆井方面水路、上大津川】

実施者：フォーラム事務局1名

②2月8日（月）

【上大津川（松戸クリーンセンターから下流へ）
逆井方面水路と周辺用水路】

実施団体：大津川をきれいにする会 3名
フォーラム事務局1名

③2月9日（火）

【上大津川、逆井方面水路と大津川との
合流地点、その上流】

実施団体：大津川をきれいにする会 3名



■オオカワデシヤ駆除

日時：3月14日 10:00～11:00 場所：逆井方面水路と隣接する湿地

参加：12名（美手連3名、ボランティア3名、フォーラム実行委員6名）

駆除量：土嚢袋81袋



■オオカワヂシャ駆除

日時：3月14日 9:00～11:30

場所：上大津川高南台方面水路

参加：大津川をきれいにする会 10名

駆除量：土嚢袋25袋



■オオカワヂシャ駆除

日時：

3月31日 9:00～13:00

場所：

上大津川高南台方面水路

参加：

大津川をきれいにする会
5名

駆除量：土嚢袋60袋



駆除作業



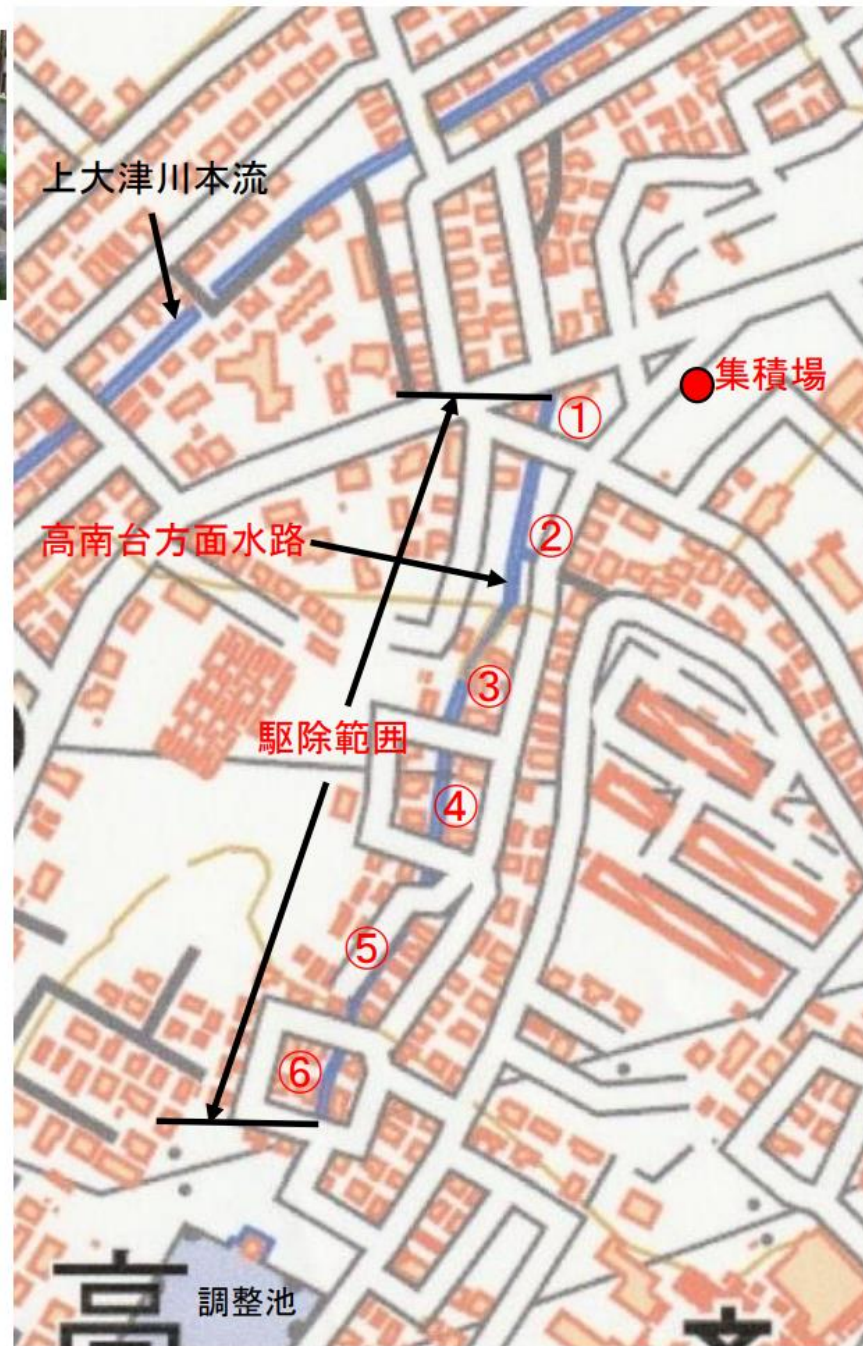
集積オオカワヂシャ



地点⑤



地点⑥



地点①



地点②



地点③



地点④

■手賀沼の魚類・貝類調査

日時：9月20日 9:00～15:00

場所：手賀沼7地点

実施団体：手賀沼水生生物研究会 13名

調査方法：モンドリによる定量調査とガサガサによる定性調査



1) 魚類

- ・ 上流域の根戸新田地先ではナガエ・オオバナが拡大し生き物にとって隠れ家になっているのか生き物の数、種類共に今までで一番多く生育していました。
- ・ 下流域では岩井新田でヨシ、ヒメガマの減少が見られました。関連は未確定ですが、魚類は例年より育ちが遅く個体も小さく、曙橋附近では小型魚類が減少しました。

2) 貝類

- ・ 生体確認数は大橋上流部では例年並みに密度薄く、見晴台ではやや減少、曙橋附近では例年通り、岩井新田では全く確認できませんでした。

